

吾妻中学校だより

第5号 吾妻中の庭：夏の大三角形

7月 7日 文責 富樫

○ 自ら学ぶ生徒

○ 心豊かな生徒

○ 体たくましい生徒

七夕と聞くと皆さんはどういう日？私は七夕と言うと・・・

七夕伝説（夜空からベガとアルタイルを見つけよう）

織姫（おりひめ）（ベガ）は天地・宇宙・万物を支配する神（天帝）の娘で、機織（はたおり）の上手な働き者の娘であった。彦星（ひこぼし）（アルタイル）もまた働き者であり、天帝（てんてい）は二人の結婚を認めた。めでたく夫婦となったが夫婦生活が楽しく、織姫は機を織らなくなり、夏彦（彦星）は牛を追わなくなった。このため天帝は怒り、二人を天の川を隔てて引き離れたが、年に1度、7月7日だけ天帝は会うことをゆるし、天の川にどこからかやってきたカササギが橋を架けてくれ会うことができた。しかし7月7日に雨が降ると天の川の水かさが増し、織姫は渡ることができず夏彦も彼女に会うことができない。星の逢引であることから、七夕には星あい（星合い、星合）という別名がある。また、この日に降る雨は催涙雨（さいるいう）とも呼ばれる。催涙雨は織姫と夏彦が流す涙（天の川を渡れなくなり、会えないために）といわれている。



短冊と竹

竹は、成長がすごく早いことから生命力の象徴であり葉は殺菌力が強いことから魔除けとして利用されるなど神聖なものとして扱われてきたそうです。そこで葉に飾り付けをするようになったようです。願い事の先は織姫（ベガ）になるようですが願いを実現するためには自分が頑張らなければならないようです。



文 月（ふみづき・7月）

短冊に歌や字を書いて、書道の上達を祈った七夕の行事に因んだ「文披月（ふみひらづき）」が転じたものといわれています。

また、穂が見えるようになる頃であることから「穂見月（ほみづき）」が転じたという説もあります。

学級目標



ちょっといい話（自分で見つけてみる編）

友達の良い話を自分で見つけて書いてみよう